

主 題	建設工事関係者連絡会議及び現場研修の開催について 九州新幹線宇都BL新設他工事 (元請：大成・九鉄・熊谷特定建設工事共同企業体)		
実施日	令和元年7月30日	参加者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎県県央振興局・大村市役所</li> <li>・諫早市役所・東彼杵町役場</li> <li>・(独) 鉄道建設九州新幹線建設局</li> <li>・建設業協会大村支部</li> <li>・建設業協会諫早支部</li> <li>・諫早労働基準監督署 計32名</li> </ul>

概 要



建設工事関係者連絡会議は、公共工事発注機関と建設事業者が、より一層の安全衛生に配慮した発注と、関係機関との連携を図り労働災害防止対策を進めていくことを目的に毎年開催しています。

開催に先立ち諫早労働基準監督署（署長：前原武士）から、本会議の趣旨と現場研修を通しての更なる労働災害防止対策の取り組みをお願いしました。



今年度は大成・九鉄・熊谷特定建設工事共同企業体様にご協力頂き、現場研修を開催しました。

現場はJR線、国道及び民家に近接し、労働災害の防止だけでなく、公衆災害の防止にも細心の注意を払い、安全衛生活動が実施されていました。

また、近年増加傾向にある外国人労働者への対応では、安全標識に母国語を併記するなど適切な配慮が実施されていました。



当署からは労働安全衛生規則の改正（フルハーネス型墜落制止用器具、伐木作業の安全対策）についての説明を行い、その後足場を使って、実際にフックを掛ける高さを変えながらぶら下がり、フルハーネス型墜落制止用器具の安全な使用について説明を行いました。

これからも猛暑の日々が続きますが、各現場におかれましては熱中症に十分注意され、労働災害ゼロを目指して施工をお願いいたします。